

# 社会福祉法人青森県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価自己評価報告書(保育所版)

令和5年度

## I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

組 氏名

#### I-1-1 (1) 理念・基本方針が確立・周知されている。

I-1-1(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	b	c	だれの問題か				bやCにした理由と改善できる点や改善方法
					個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)法人(保育所)の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、保護者等への周知が図られている。	○	30						
	b)法人(保育所)の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。								
	c)法人(保育所)の理念、基本方針の明文化や職員への周知がされていない。								

### I-2 経営状況の把握

#### I-2-1 (1) 経営環境の変化等に対応している。

I-2-1(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体					
										判断基準	a)事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○	30
	b)事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されているが、分析が十分ではない。												
	c)事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されていない。												
I-2-1(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体					
判断基準	a)経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	○	30										
	b)経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき、取組を進めているが十分ではない。												
	c)経営環境と経営状況の把握・分析にもとづく取組が行われていない。												
合計	I-2経営状況の把握 3細目中 計	3	0	0									

### I-3 事業計画の策定

#### I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

I-3-1(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b	c	だれの問題か				bやCにした理由と改善できる点や改善方法				
					個人	クラス	担当	全体					
判断基準	a)経営や保育に関する、中・長期の事業計画及び中・長期の収支計画を策定している。	○	30										
	b)経営や保育に関する、中・長期の事業計画または中・長期の収支計画のどちらかを策定してなく、十分ではない。												
	c)経営や保育に関する、中・長期の事業計画も中・長期の収支計画のどちらも策定していない。												

(実施要綱・様式3)

I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)単年度の計画は、中・長期計画を反映して具体的に策定されている。	○	30						
	b)単年度の計画は、中・長期計画を反映しているが、内容が十分ではない。								
	c)単年度の計画は、中・長期計画を反映しておらず、内容も十分ではない。								

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	○	30						
	b)事業計画が職員等の参画のもとで策定されているが、実施状況の把握や評価・見直し、または、職員の理解が十分ではない。								
	c)事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。								
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)事業計画を保護者等に周知するとともに、内容の理解を促すための取組を行っている。	○	30						
	b)事業計画を保護者等に周知しているが、内容の理解を促すための取組が十分ではない。								
	c)事業計画を保護者等に周知していない。								
合計	I-3事業計画の策定 4細目中 合計	4	0	0					

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○	30						
	b)保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われているが、十分に機能していない。								
	c)保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われていない。								
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	b	c	だれの問題か 個人 クラス 担当 全体				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
判断基準	a)評価結果を分析し、明確になった保育所として取組むべき課題について、改善策や改善実施計画を立て実施している。	○	30						
	b)評価結果を分析し、保育所として取組むべき課題を明確にしているが、改善策や改善実施計画を立て実施するまでに至っていない。								
	c)評価結果を分析し、保育所として取り組むべき課題を明確にしていない。								
合計	I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 2細目中 合計	2	0	0					
合計	領域 I 全9細目中 合計	9	0	0					

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

#### II-1- (1) 管理者の責任が明確にされている。

II-1- (1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。	○	30						
	b)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。								
	c)施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。								
II-1- (1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	b	c	だれの問題か 個人 クラス 担当 全体				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
判断基準	a)施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。	○	30						
	b)施設長、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。								
	c)施設長、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。								

#### II-1- (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

II-1- (2)-①	保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)施設長は、保育の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	○	30						
	b)施設長は、保育の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。								
	c)施設長は、保育の質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。								
II-1- (2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に十分な指導力を発揮している。	○	30						
	b)施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。								
	c)施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組について指導力を発揮していない。								
合計	II-1管理者の責任とリーダーシップ 4細目 合計	4	0	0					

### II-2 福祉人材の確保・育成

#### II-2- (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

II-2- (1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	b	c	だれの問題か 個人 クラス 担当 全体				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
判断基準	a)保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しており、それにもとづいた取組が実施されている。	○	30						
	b)保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しているが、それにもとづいた取組が十分ではない。								
	c)保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立していない。								

(実施要綱・様式3)

Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)総合的な人事管理を実施している。	○ 30							
	b)総合的な人事管理に関する取組が十分ではない。								
	c)総合的な人事管理を実施していない。								

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築され、働きやすい職場づくりに積極的に取組んでいる。	○ 30							
	b)職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。								
	c)職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。								

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

Ⅱ-2-(3)-①	職員の一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。	○ 30							
	b)職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われているが、十分ではない。								
	c)職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われていない。								
Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	b	c	だれの問題か 個人 クラス 担当 全体				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
判断基準	a)保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	○ 30							
	b)保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されているが、内容や教育・研修の実施が十分ではない。								
	c)保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。								
Ⅱ-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保され、適切に教育・研修が実施されている。	○ 30							
	b)職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保されているが、参加等が十分でない。								
	c)職員一人ひとりについて、研修機会が確保されていない。								

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

Ⅱ-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等、積極的な取組を実施している。	○	30						
	b)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備してはいるが、効果的な育成プログラムが用意されていないなど、積極的な取組には至っていない。								
	c)実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備しておらず、教育・研修が行われていない。								
合計	Ⅱ-2人材の確保・養成 7細目中合計	7	0	0					

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

Ⅱ-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保育所の事業や財務等に関する情報について、適切に公開している。	○	30						
	b)保育所の事業や財務等に関する情報を公表しているが、方法や内容が十分ではない。								
	c)保育所の事業や財務等に関する情報を公表していない。								
Ⅱ-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○	30						
	b)公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。								
	c)公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われていない。								

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Ⅱ-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っている。	○	30						
	b)子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。								
	c)子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。								

(実施要綱・様式3)

II-4-(1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されており、受け入れについての体制が整備されている。	○	30						
	b)ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されているが、受け入れについての体制が十分に整備されていない。								
	c)ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が明示されていない。								

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。	○	30						
	b)子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握しているが、その関係機関等との連携が十分ではない。								
	c)子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。								

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みが行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	改善できる点や改善方法
判断基準	a)地域の福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取り組みを積極的に行っている。	○	29	○	1				・子育て支援において、利用の子どもが月齢に合わせてイベントや講座内容を変更したことで、後半は利用が増えてきた。今後も継続して利用者に合わせて内容を検討し続ける必要がある。(アンケートや直接利用者に聞いていく)
	b)地域の福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取り組みを行っているが、十分ではない。								
	c)地域の福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取り組みを行っていない。								
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	改善できる点や改善方法
判断基準	a)把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を積極的に行っている。	○	30						
	b)把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が十分ではない。								
	c)把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を行っていない。								
合計	II-4地域との交流、地域貢献 5細目中 計	5	1	0					
合計	領域 II 16細目中 計	16	1	0					

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

##### Ⅲ-1- (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解を持つための取組が行われている。	○	30						
	b)子どもを尊重した保育についての基本姿勢は明示されているが、組織内で共通の理解をもつための取組は行っていない。								
	c)子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示されていない。								
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どものプライバシー保護等に関する規程・マニュアル等を整備し、子どものプライバシーに配慮した保育が行われている。	○	30						
	b)子どものプライバシー保護等に関する規程・マニュアル等を整備しているが、子どものプライバシーに配慮した保育が十分ではない。								
	c)子どものプライバシー保護等に関する規程・マニュアル等を整備していない。								

##### Ⅲ-1- (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供している。	○	30						
	b)利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供しているが、十分ではない。								
	c)利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供していない。								
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等にわかりやすく説明を行っている。	○	30						
	b)保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っているが、十分ではない。								
	c)保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っていない。								

(実施要綱・様式3)

Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮している。	○	30						
	b)保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮しているが、十分ではない。								
	c)保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮していない。								

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	b	c	だれの問題か				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
					個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)利用者満足把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を踏まえて、その向上に向けた取組を行っている。	○	30						
	b)利用者満足把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を把握しているが、その向上に向けた取組が十分ではない。								
	c)利用者満足把握するための仕組みが整備されていない。								

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。	○	30						
	b)苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。								
	c)苦情解決の仕組みが確立していない。								
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備され、そのことを保護者に伝えるための取組が行われている。	○	30						
	b)保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを保護者に伝えるための取組が十分ではない。								
	c)保護者が相談したり意見を述べたい時に、方法や相手を選択できない。								
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。	○	30						
	b)保護者からの相談や意見を把握しているが、対応が十分ではない。								
	c)保護者からの相談や意見の把握をしていない。								



Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a) リスクマネジメント体制を構築し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。	○	30						
	b) リスクマネジメント体制を構築しているが、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集と要因分析と対応策の検討・実施が十分ではない。								
	c) リスクマネジメント体制を構築されておらず、子どもの安心と安全を脅かす事例を組織として収集していない。								
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a) 感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。	○	30						
	b) 感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備しているが、取組が十分ではない。								
	c) 感染症の予防策が講じられていない。								
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○	30						
	b) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っているが、十分ではない。								
	c) 地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っていない。								
合計	Ⅲ-1利用者本位の福祉サービス 12細目中計	12	0	0					

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	子どもの人権を具体的にどのように尊重するのかや、倫理観についての具体的な明記はマニュアルにする必要がある。 ・現存するもの ・追加必要 マニュアルの確認、修正し2月末日までに改善する。(着替え、排泄、プール、写真撮影)
判断基準	a) 保育について、標準的な実施方法が文書化され、それにもとづいた保育が実施されている。	○	29	○	1				
	b) 保育について、標準的な実施方法が文書化されているが、それにもとづいた保育の実施が十分ではない。								
	c) 保育について、標準的な実施方法が文書化されていない。								

(実施要綱・様式3)

Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	b	c	だれの問題か				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
					個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定め、仕組みのもとに検証・見直しを行っている。	○	30						
	b)標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう仕組みを定めているが、検証・見直しが十分ではない。								
	c)標準的な実施方法について、組織的な検証・見直しの仕組みを定めず、定期的な検証をしていない。								

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
	b)アセスメントにもとづく指導計画を作成するための体制が確立しているが、取組が十分ではない。								
	c)アセスメントにもとづく指導計画を作成するための体制が確立していない。								
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施している。	○	30						
	b)指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施しているが、十分ではない。								
	c)指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施していない。								

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
	b)子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されているが、職員間での共有化が十分ではない。								
	c)子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されていない。								
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもに関する記録の管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。	○	30						
	b)子どもに関する記録の管理について規程が定められ管理が行われているが、十分ではない。								
	c)子どもに関する記録の管理について規程が定められていない。								
合計	Ⅲ-2福祉サービスの質の確保 6細目中 計	6	1	0					
合計	領域Ⅲ 18細目中 計	18	2	0					

## 福祉サービス内容評価

### A-1 保育内容

#### A-1-1 (1) 全体的な計画の作成

A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)全体的な計画は、保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成している。	○	30						
	b)全体的な計画は、保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成しているが、十分ではない。								
	c)全体的な計画は、保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成していない。								

#### A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	・通風、換気に配慮しているが、時期により湿度が低い時があるため、定期的に窓を開けることとする。
判断基準	a)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○	28	○	○	○	○	○	・週に1回棚や雑巾等の移動ラック、水回りの掃除をする事としているが、2週間に1回のこともある為、毎週行えるよう時間の工夫が必要。
	b)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、十分ではない。								
	c)生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していない。								
A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	・個人差はあるが、子どもの気になる表面上の行動に目が行きがちである。子どもの行動の背景にある心情を理解し、取り組んでいる最中である。
判断基準	a)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	○	27	○	○	○	○	○	・関わり方が分からない時、自信がないとただ抱っこしている関わりになっている。受け止め、確かめ、促し、認めをセットで出来るようにお互いに点検し合う必要がある。
	b)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているが、十分ではない。								
	c)一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていない。								
									・クラスの補充に入った際、困っている状態の子どもへの対応に困ることがある。改善策として補充に入った日にクラス担任と情報共有出来る時間(5~10分程)を設けて、次回に繋げていく必要がある。
									・今年度は職員の動きのスピードまで見直し意識して揃えることができた。

(実施要綱・様式3)

A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	<p>エミール見学等にて、必要以上の手出し、口出しがある事に改めて気づいた。子どもがどこまでできそうか、観察をし、待つことと、必要に合わせた援助を行っている。</p> <p>子どもが一人でできる所も援助してしまう場面がある。子どもの発達、目的をおさえて見守り、必要な部分の援助を行う必要がある。</p>
判断基準	a)子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	○ 28	○ 2					○ もも	
	b)子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っているが、十分ではない。								
	c)子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていない。								
A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	○ 30							
	b)子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているが、十分ではない。								
	c)子どもが主体的に活動できる環境の整備や、子どもの生活と遊びを豊かにする保育が展開されていない。								
A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○ 30							
	b)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。								
	c)適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。								
A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1.2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○ 30							
	b)適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。								
	c)適切な環境、保育の内容・方法に配慮されていない。								

(実施要綱・様式3)

A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b	c	だれの問題か				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
					個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)適切な環境が整備し、保育の内容や方法に配慮している。								<p>○</p> <p>・教育の視点での環境整備では、週1回の会議でアセスメントし改善策を出している。環境、内容での様々な視点を持つことが課題と捉える。</p> <p>・週1回チームでの週会議を行い、環境整備に関しても話し合われているが、整備にかかる時間が十分に取れていない。会議の中で「用具の用意、準備から何をどうする」まで決めたセットの中身までの明確なイメージと時間の見積もりの計画を立てるべきだった。</p> <p>・結論は出てくるが、その前のアセスメント力をつける必要がある。</p> <p>・出来た、やったの単発ではなく、継続的な支援を高める必要がある。</p>
	b)適切な環境が整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	○ 27	○ 3			○ にじほし			
	c)適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。								
A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。								
	b)障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	○ 29	○ 1						
	c)障害のある子どもが安心して生活できる環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。								
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。								
	b)それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	○ 30							
	c)それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。								
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。								
	b)小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているが、十分ではない。	○ 30							
	c)小学校との連携や就学を見通した計画、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮していない。								

購入、道具出し、セット、入れ替え所要時間と途中の進行状況、今後の予定の修正確認まで含めた計画を立て、共有し見える化する。(申し込みファイルに貼る等)

## A-1-(3) 健康管理

A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもの健康管理を適切に行っている。	○	30						
	b)子どもの健康管理を適切に行っているが、十分ではない。								
	c)子どもの健康管理を適切に行っていない。								
A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○	30						
	b)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映しているが、十分ではない。								
	c)健康診断・歯科検診の結果を保育に反映していない。								
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	○	30						
	b)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っているが、十分ではない。								
	c)アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、適切な対応を行っていない。								

## A-1-(4) 食事

A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○	30						
	b)食事を楽しむことができるよう工夫をしているが、十分ではない。								
	c)食事を楽しむことができる工夫をしていない。								
A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○	30						
	b)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているが、十分ではない。								
	c)子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供していない。								
合計	A-1 保育内容 16細目中 計	16	5	0					

**A-2 子育て支援**

**A-2-(1) 家庭との緊密な連携**

A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○	30						
	b)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っているが、十分ではない。								
	c)子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っていない。								
<b>A-2-(2) 保護者等の支援</b>									
A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○	30						
	b)保護者が安心して子育てができるよう支援を行っているが、十分ではない。								
	c)保護者が安心して子育てができるよう支援を行っていない。								
A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	b	c	だれの問題か				bやcにした理由と改善できる点や改善方法
					個人	クラス	担当	全体	
判断基準	a)家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○	30						
	b)家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めているが、十分ではない。								
	c)家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めていない。								
合計	A-2 子育て支援 3細目中 計	3	0	0					

**A-3 保育の質の向上**

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

A-1-(3)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	b	c	個人	クラス	担当	全体	・取り組み始める前のイメージが出来ていない。 「今どうなってる?」「何がどうなっているのかな」等の自問自答の習慣と、スタート前の始まりから終わりまでのイメージを持って取り組み始める必要がある。 ・現状把握が不十分。		
判断基準	a)保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○	28	○	2					○	
	b)保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めているが、十分ではない。										
	c)保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)に取り組んでいない。										
合計	A-3 保育の質の向上 1細目中計	1	1	0							
合計	領域A 20細目中計	20	6	0							
合計	全評価細目 65細目中計	65	8	0							

①まずは何がどうなっている、過去に比べるとどう変化した、どのように、どの程度変化してきた、の言葉を用いての事実共有を習慣化する。

②振り返りする中で現状把握から始まる振り返りを行う。  
(経過への変化や関心を高める必要がある。)

把握した現状＝何がどうなっている  
それは、私たちのここが弱い、少ないから出てこないのか?  
↓  
ならば  
・この働きかけを増やそう→そしたらこうなるかも  
・これを取り入れてみよう→そしたらこうなるかも  
・ではこれを見ていこう→そしたらこうなるかも